

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2021年5月)

【内政】

- 23日、タロン大統領2期目の任期開始に伴う就任・宣誓式がポルト・ノボ市シャルル＝ドゴール・スタジアムで開催され、津川貴久駐ベナン日本国大使が出席した。同大統領は就任演説において自分の任務は高度に社会的なものになると述べた。また、タラタ副大統領もこれをもって就任した。(25日、La Nation 紙)
- 25日、タロン大統領2期目の就任に伴う内閣改造が行われ新閣僚の名簿が公表された。これまでの24省が23省となり、新内閣は23大臣中20名が留任、2名が新任、1名が横滑り、3名が退任をすることとなった。(26日、La Nation 紙)

【治安・保健】

- 1日付けのベナン政府による新型コロナウイルス関連の統計によれば、累積感染者数が7,884名、死者数が100名に達した。(4日、Le Matinal 紙)
- 18日、ウンパティン保健大臣は、これまで高齢者や基礎疾患のある人に限定されていた新型コロナウイルスのワクチン接種を18歳以上の成人に拡大することを公表した。(26日、L'Événement Précis 紙)

【経済】

- 6～7日、草の根人間の安全保障無償資金協力により建設されたウィダ市学校建設計画3件の引渡式が開催され、近藤臨時代理大使が出席した。(10日、L'Événement Précis 紙)
- UEMOA(西アフリカ経済通貨同盟)による2021年の経済成動向の報告によれば、ベナンの同年の経済成長率は6.0%と予想とされている。(17日、L'Économiste 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ スtockホルム国際平和研究所の発表によれば、2020年のベナンの軍事費は7,180万米ドル(対GDP比0.5%、アフリカ諸国内で36位)であった。(3日、L'Économiste 紙)
- ・ 5日、任務を終えた独立国家選挙委員会(CENA)のティアンド委員長らはタロン大統領を離任表敬し、同委員会の改善に向けた提案を行った。(6日、La Nation 紙)
- ・ 12日、政府は、CENAの委員にサッカ・ラフィア内務・治安大臣が就任することを承認すること及びニヨンロンファン国家仲裁人の後任としてパスカル・エス氏を指名することを閣議決定した。(14日、La Nation 紙)

- ・ 23日、タロン大統領2期目の任期開始に伴う就任・宣誓式がポルト・ノボ市シャルル＝ドゴール・スタジアムで開催され、津川貴久駐ベナン日本国大使が出席した。同大統領は就任演説において自分の任務は高度に社会的なものになると述べた。また、タラタ副大統領もこれをもって就任した。(25日、La Nation 紙)
- ・ 25日、タロン大統領2期目の就任に伴う内閣改造が行われ新閣僚の名簿が公表された。これまでの24省が23省となり、新内閣は23大臣中20名が留任、2名が新任、1名が横滑り、3名が退任をすることとなった。(26日、La Nation 紙)

【外政】

- ・ 12日、マクロン仏大統領は、再選されたタロン大統領宛に再選を事実上認める書簡を発出した。また、オランダもタロン大統領再選の祝辞を国王名で発出し、駐ベナン・オランダ大使によりアベノンシ外務・協力大臣に手交された。(14日、La Nation 紙)

【治安・保健】

- ・ 1日付けのベナン政府による新型コロナウイルス関連の統計によれば、累積感染者数が7,884名、死者数が100名に達した。(4日、Le Matinal 紙)
- ・ 7日夜から8日にかけて、コトヌ市ダントツパ市場において3,500平方メートルに及ぶ火災が発生し、甚大な物的被害が出た。(10日、Le Matinal 紙)
- ・ 9日、モノ県グランポポ市アグエ区の警察署は、モーターボートで運搬されていた832Kgの大麻を押収した。(14日、Le Matinal 紙)
- ・ 18日、ウンパティン保健大臣は、これまで高齢者や基礎疾患のある人に限定されていた新型コロナウイルスのワクチン接種を18歳以上の成人に拡大することを公表した。(26日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 26日、アラダ市において、荷運び用の三輪バイクから325Kgの偽造薬が警察により発見され、2名の男が逮捕された。(25日、Le Matinal 紙)
- ・ 26～27日、トナト生活環境・持続的開発大臣は、北部パンジャリ公園を訪問し、公園管理状況を視察するとともに、現場責任者から運営上の問題点を聴取した。(6月2日、La Nation 紙)

【経済】

- ・ 6～7日、草の根人間の安全保障無償資金協力により建設されたウィダ市学校建設計画3件の引渡式が開催され、近藤臨時代理大使が出席した。(10日、L'Événement Précis 紙)
- ・ UEMOA(西アフリカ経済通貨同盟)による2021年の経済成動向の報告によれば、ベナンの同年の経済成長率は6.0%と予想とされている。(17日、L'Économiste 紙)
- ・ 18日、フランス主催のアフリカ経済の資金調達に関する首脳会合にワダニ大臣が出席した。(20日、L'Économiste 紙)

- ・ 20日、ハートライフ駐ベナンEU大使とワダニ経済・財務大臣は、欧州投資銀行による新型コロナウイルス対策のための1億4,000万ユーロにのぼる財政支援に係る契約の署名を行った。(21日、La Nation 紙)
- ・ 20日、ニジェールとベナンを結ぶ原油パイプラインの起工式が実施され、ビオ・チャネ計画・開発大臣、ペン駐ベナン中国大使らが出席した。(21日、La Nation 紙)
- ・ 28日、ベナン商工会議所(CCIB)は、「さらなるインパクトにむけ邁進する」と題する2020～2025年までの発展戦略プランを公表し、民間企業関係者らと意見交換を行った。(6月1日、L'Économiste 紙)

【文化・その他】

- ・ 1～2日、ベナン空手協会とアトランティック県・リトラル県空手リーグは、空手道コトヌ・オープン(青年の部)と題する大会を開催した。(4日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 27日、ペン駐ベナン中国大使は、パラク大学に設立された孔子学院の開所式に出席した。(6月3日、La Nation 紙)